

# 平成23年度「宇北高等学校評価アンケート」まとめ

## 1 調査の概要

学校評価の一環として、本校を保護者、生徒、教職員はどうとらえているかを調査した。本年度の重点目標である4項目を含め、可能な限り共通の質問を用い、三者の意識の違いを比較した。また昨年との比較も行った。

答え方についてはA:大いにそう思う、B:そう思う、C:あまり思わない、D:全く思わない、の4つの選択肢を用い、保護者対象のものだけE:わからない、を加えた。

	生徒	保護者	教職員
回答者数	830	742	60
回答率	94.6%	84.6%	100.0%
調査日	H23年11月	H23年11月	H23年12月

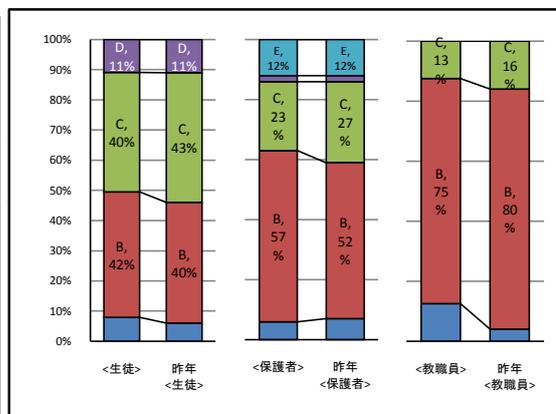
## 2 質問事項と集計結果

【 A,大いにそう思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

### 【重点目標①】

#### 学力の伸長

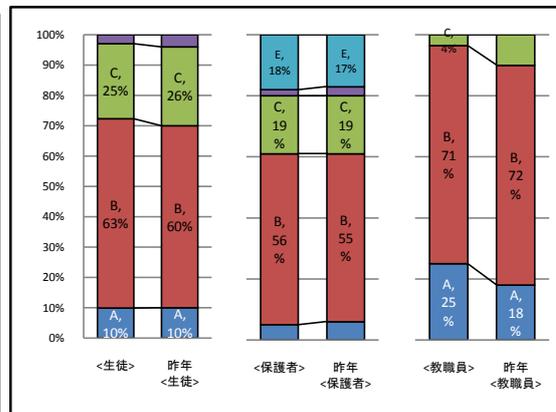
<生徒>	私は、宇北高に入学して学力が向上している。
<保護者>	宇北高の教育は入学した生徒の学力を伸ばしている。
<教職員>	本校の教員は、授業を通して、確実に学力を付けさせている。
生徒、保護者、教職員ともに、肯定的な回答が昨年よりも増加している。しかし、その数値は、50%、63%、88%であり、三者の捉え方の差が表れている。特に、「あまり思わない」「D全く思わない」と回答した50%の生徒への対応が課題である。学力向上を実感できる教育活動を一層進める必要がある。	



### 【重点目標②】

#### 進路の実現

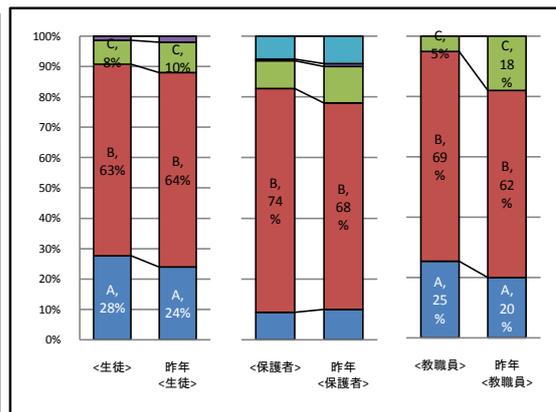
<生徒>	宇北高の先生は、生徒の進路について、生徒の適性を生かし、希望の実現につながる進路指導を行っている。
<保護者>	宇北高の先生は、生徒の進路について、生徒の適性を生かし、希望の実現につながる進路指導を行っている。
<教職員>	本校の教員は、生徒の進路について、生徒の適性を生かし、希望の実現につながる進路指導を行っている。
教職員の肯定的な回答が、昨年より6%増加して96%に達している。生徒は3%増加したが、保護者は昨年との変化はほとんどなく、肯定的な回答は60%に止まっている。一昨年、昨年に続いて進路実績を伸ばしていくためにも学校全体のさらなる努力が必要である。	



### 【重点目標③】

#### ルール・マナーの遵守

<生徒>	宇北高の先生は、生徒に対してルールやマナーを守るよう指導に努めている。
<保護者>	宇北高の先生は、生徒に対してルールやマナーを守るよう指導に努めている。
<教職員>	本校の教員は、生徒に対してルールやマナーを守るよう指導に努めている。
昨年から引き続き、三者とも80%以上が「大いにそう思う」「そう思う」と回答し、本年の取り組みが評価されていることがわかる。特に、生徒の肯定的回答は90%を超えており指導の効果が上がっていると思われる。	

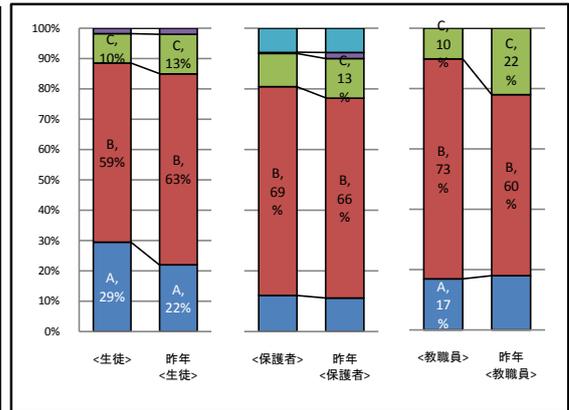


【 A,大いにそう思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

【重点目標④】

生活指導の徹底

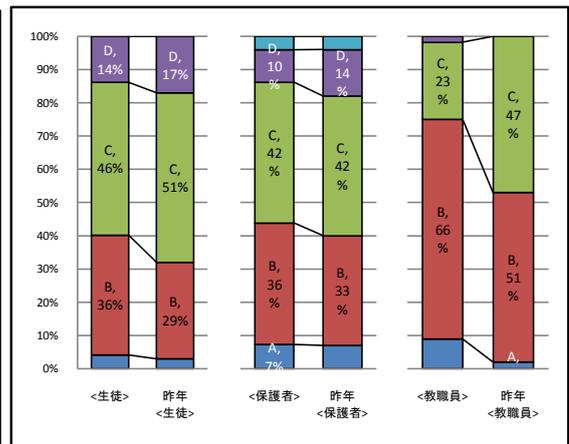
<生徒>	宇北高の先生は、生徒の生活面(服装、遅刻、礼儀、交通安全等)について、きちんとした指導を行っている。
<保護者>	宇北高の先生は、生徒に生活面(服装、遅刻、礼儀、交通安全等)について、きちんとした指導を行っている。
<教職員>	本校の教員は、生徒の生活面(服装、遅刻、礼儀、交通安全等)について、きちんとした指導を行っている。
昨年と比較して、三者とも肯定的回答が増加している。生活指導の徹底が浸透し、意識が高まっている結果と言える。今後も、職員、学年、学校と家庭間の共通理解のもと、よりいっそうの指導が必要である。	



【学習指導①】

予習復習の徹底

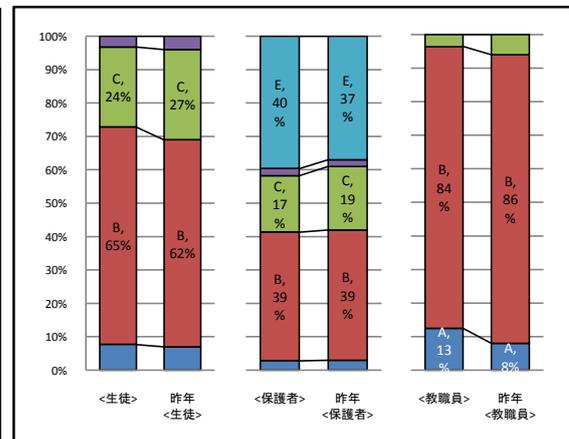
<生徒>	私は、毎日予習復習をして授業に臨んでいる。
<保護者>	私の子供は、毎日予習・復習をして授業に臨んでいる。
<教職員>	本校の教員は、毎日の予習復習など家庭学習の習慣を身に付けさせている。
昨年と比べて、生徒と保護者の肯定的な回答は増加しているものの、40%程度にとどまっており、教職員の認識とは大きな差がある。学年別に生徒の肯定的回答を見ると、1年生が32%、2年生が28%、3年生が63%であった。生徒の実態を捉えた継続的な指導が必要である。	



【学習指導②】

わかりやすい授業

<生徒>	宇北高の先生はわかりやすい授業を行っている。
<保護者>	宇北高の先生はわかりやすい授業を行っている。
<教職員>	本校の教員はわかりやすい授業を行っている。
生徒の肯定的な回答が増加して70%を超えたが、決して高い数値ではない。教職員の回答も「大いにそう思う」は13%であり、改善に向けた努力が必要である。	

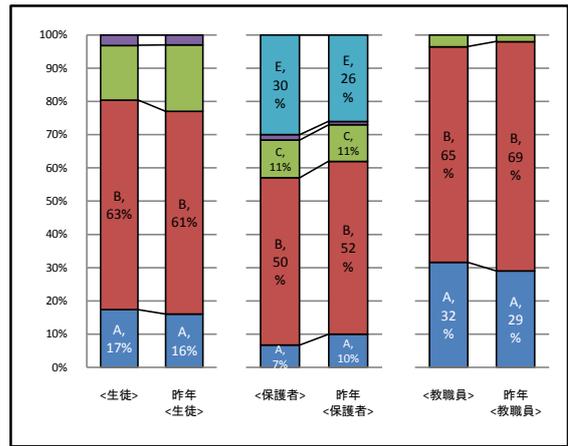


【 A,大いにそう思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

【生活指導 ①】

生徒からの相談

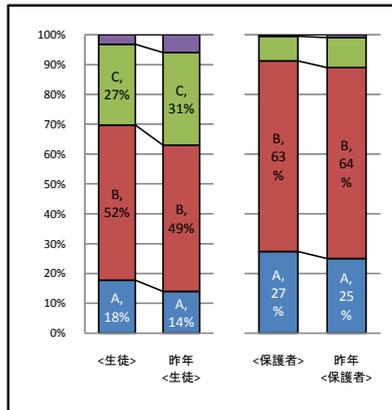
〈生徒〉	宇北高の先生は生徒からの相談に誠実に対応してくれている。
〈保護者〉	宇北高の先生は、生徒からの相談に誠実に対応してくれている。
〈教職員〉	本校の教員は生徒からの相談に誠実に対応している。
<p>昨年に比べ、生徒の肯定的な回答の割合が増加して80%になったが、保護者の方は、「わからない」の増加に伴って肯定的回答が減少した。今後も生徒一人ひとりを大切にしたい対応をしていかなければならない。</p>	



【生活指導 ②】

規則の遵守

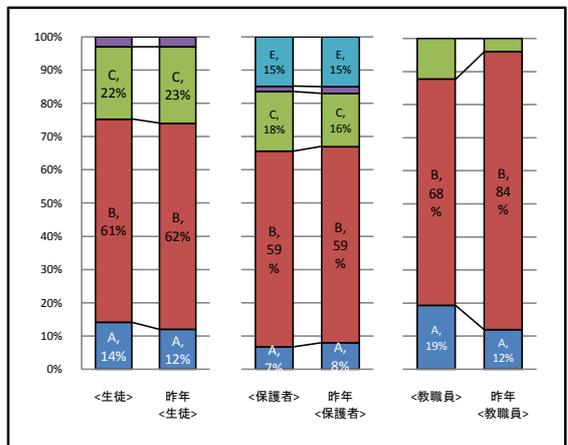
〈生徒〉	宇北高生は、服装、頭髪など学校の規則を守っている。
〈保護者〉	私は、子供の服装、頭髪、交友関係や遅刻等に常に関心を払っている。
<p>生徒・保護者共に肯定的な回答の割合が増加した。規則の遵守に対する意識の高さと関心の高さが表れている。このことは重点目標③、重点目標④の結果とも一致している。</p>	



【進路指導】

進路情報

〈生徒〉	宇北高が提供する進路情報は、役に立っている。
〈保護者〉	宇北高が提供する進路情報は、役に立っている。
〈教職員〉	本校が提供する進路情報は、役に立っている。
<p>生徒と保護者の回答の割合は昨年とほぼ同様であった。今後も、適確な進路情報の提供に努める必要がある。</p>	

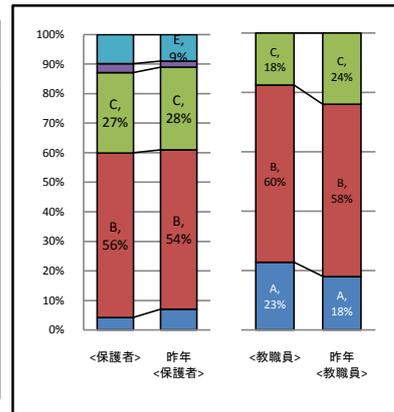


【 A,大いにそう思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

【 情報発信 】

教育方針や情報の伝達

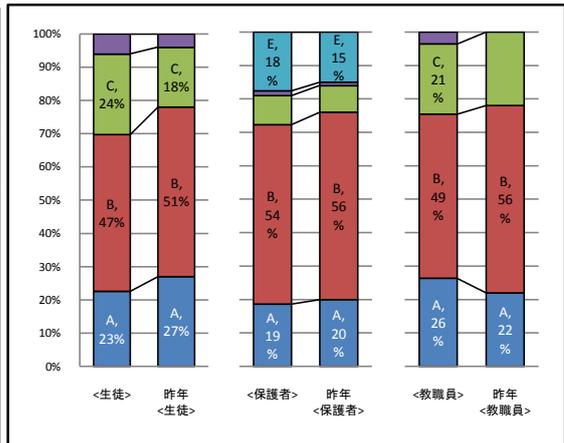
<保護者>	宇北高は、教育方針や学校の情報を保護者に積極的に伝えている。
<教職員>	本校は教育方針や学校の情報を保護者に積極的に伝えている。
保護者の肯定的な回答はわずかに減少して60%であるのに対して、教職員は増加して83%となっている。学校の情報伝達の手段と方法について、さらに有効な方法を検討する必要がある。	



【 国際理解教育 】

内容の充実

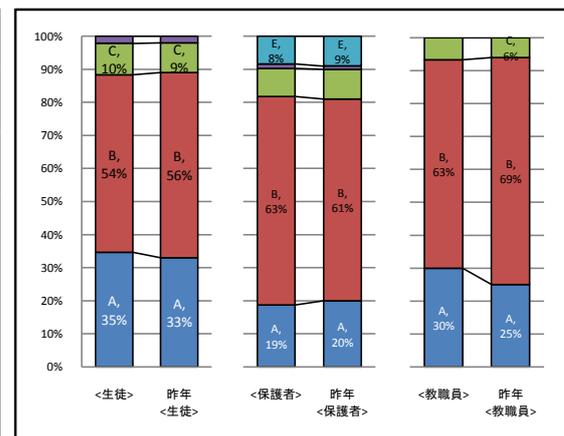
<生徒>	宇北高の国際理解教育は他校に対して誇れる充実した内容である。
<保護者>	宇北高の国際理解教育は他校に対して誇れる充実した内容である。
<教職員>	本校の国際理解教育は他校に対して誇れる充実した内容である。
昨年と比べて、三者とも肯定的な回答が減少した。震災の影響で長期留学生在が不在になったことも一つの要因であるが、いっそうの内容の充実が求められる。	



【 部活動 】

活発さ

<生徒>	宇北高は、部活動・生徒会活動が活発に行われている。
<保護者>	宇北高は、部活動・生徒会活動が活発に行われている。
<教職員>	本校は、部活動・生徒会活動が活発に行われている。
三者とも昨年と比べて大きな変化はないが、「大いにそう思う」の数値は生徒と教職員で増加しており、良好な結果である。	

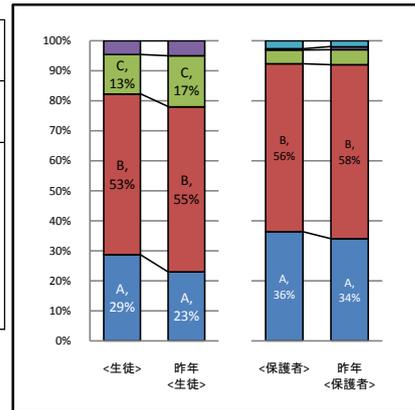


【 A,大いにそう思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

【教育活動全般①】

宇北高生としての誇り

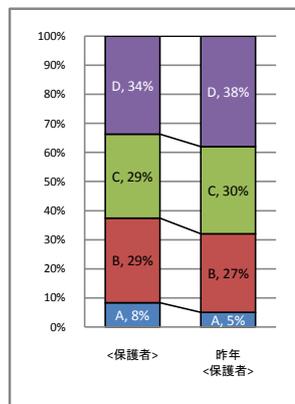
<生徒>	私は、宇北高の生徒であることに誇りをもっている。
<保護者>	私は、子供が宇北高の生徒であることに誇りをもっている。
	昨年と同様に92%の保護者が子供が宇北高の生徒であることに誇りを持っている。生徒は昨年よりも4%増加して82%になった。



【教育活動全般②】

ホームページ

<保護者>	宇北高のホームページを見ている。
	全体としてホームページを見ている割合は昨年に比べ、増加している。学校での教育活動をホームページを見て理解することが多くなり、一層の内容の充実が必要である。

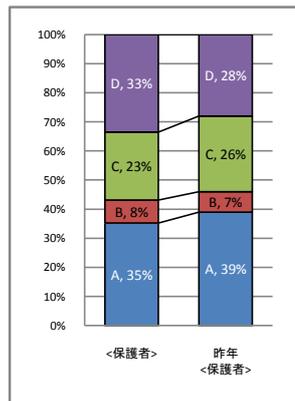


- D, 見ていない
- C, 1~2回見たことがある
- B, 時々見る
- A, 積極的に見ている

【教育活動全般③】

PTA総会・学年部会への参加

<保護者>	私はPTA総会や学年部会に参加した。(授業参観のみを含む)
	残念ながら、昨年と比べて両方に参加した割合が減り、どちらも不参加の割合が増えた。総会や学年部会により多くの保護者に参加してもらえよう、工夫した持ち方等を早急に検討する必要がある。



- D, どちらも不参加
- C, 学年部会のみ参加した
- B, PTA総会のみ参加した
- A, 両方参加した

3 改善に向けた今後の取り組み

本アンケートの結果及び校内の各部・各学年、学校評議員等の学校関係者からの評価も踏まえ、本年度重点目標の達成状況や達成に向けた取り組みの状況を把握整理した上で、来年度に向けた改善方策の検討を行い、来年度の重点目標を設定する。